

平成 27 年 9 月 8 日



第 62 回 徳島大学解剖体慰霊祭を開催

徳島大学医学部及び歯学部では、学生の解剖学実習に御献体いただいた方々の御遺族をお招きして、第 62 回 徳島大学解剖体慰霊祭を執り行います。

(報道概要)

日時 平成 27 年 10 月 9 日 (金) 15:00～
場所 徳島大学大塚講堂 (蔵本キャンパス)
次第

- 開式の辞
- 黙 禱
- 献体者の氏名奉読
- 追悼の辞
 - 祭主 (医学部長)
 - 歯学部長
 - 解剖関係教室代表
 - 白菊会代表
 - 医学部学生代表
 - 歯学部学生代表
- 献 花
- 遺族代表者挨拶
- 祭主挨拶
- 閉式の辞

詳細は別紙をご覧ください。

お問い合わせ先

部局名：医学部

責任者：医歯薬事務部 医学部学務課

学務課長 森 太一 (もり たいち)

担当者： 大学院係 森下 佳代 (もりした かよ)

電話番号：088-633-9649

メールアドレス：morishita.kayo@tokushima-u.ac.jp

平成27年9月8日

報道関係者 殿

徳島大学医学部長
苛原 稔 [公印省略]
徳島大学歯学部長
河野 文昭 [公印省略]

第62回徳島大学解剖体慰霊祭の挙行について（通知）

拝啓 貴社ますますご隆盛の段、お慶び申し上げます。

平素は、本学の医学・歯学の教育・研究のため、格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年も医学・歯学の発展のためにご献体賜りました方々の慰霊祭を下記により執り行いますので、お知らせします。

貴社におかれましては、例年のようにどうぞ取材の上、社会面の一つとして取り上げていただければ幸いです。

敬 具

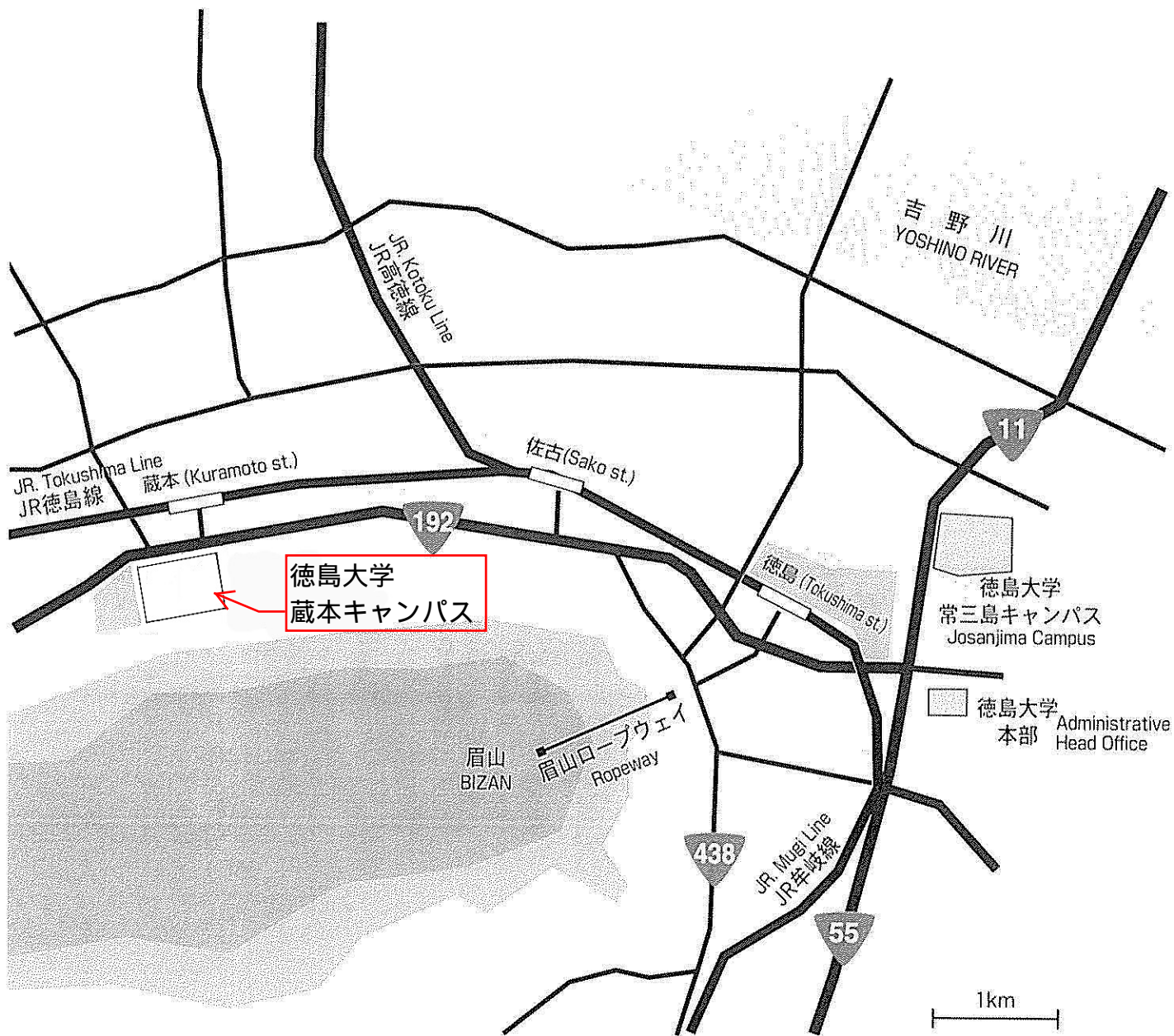
記

日 時 平成27年10月9日（金） 午後3時から

場 所 徳島大学蔵本キャンパス内 大塚講堂（別添の地図参照）

連絡先 〒770-8503
徳島県徳島市蔵本町3丁目18-15
徳島大学医歯薬事務部医学部学務課解剖体担当（医学部内）
電話：088-633-9649

徳島大学蔵本地区位置図



徳島大学【蔵本キャンパス地図】

西入口

正面入口

歯学部

立体駐車場

大塚講堂

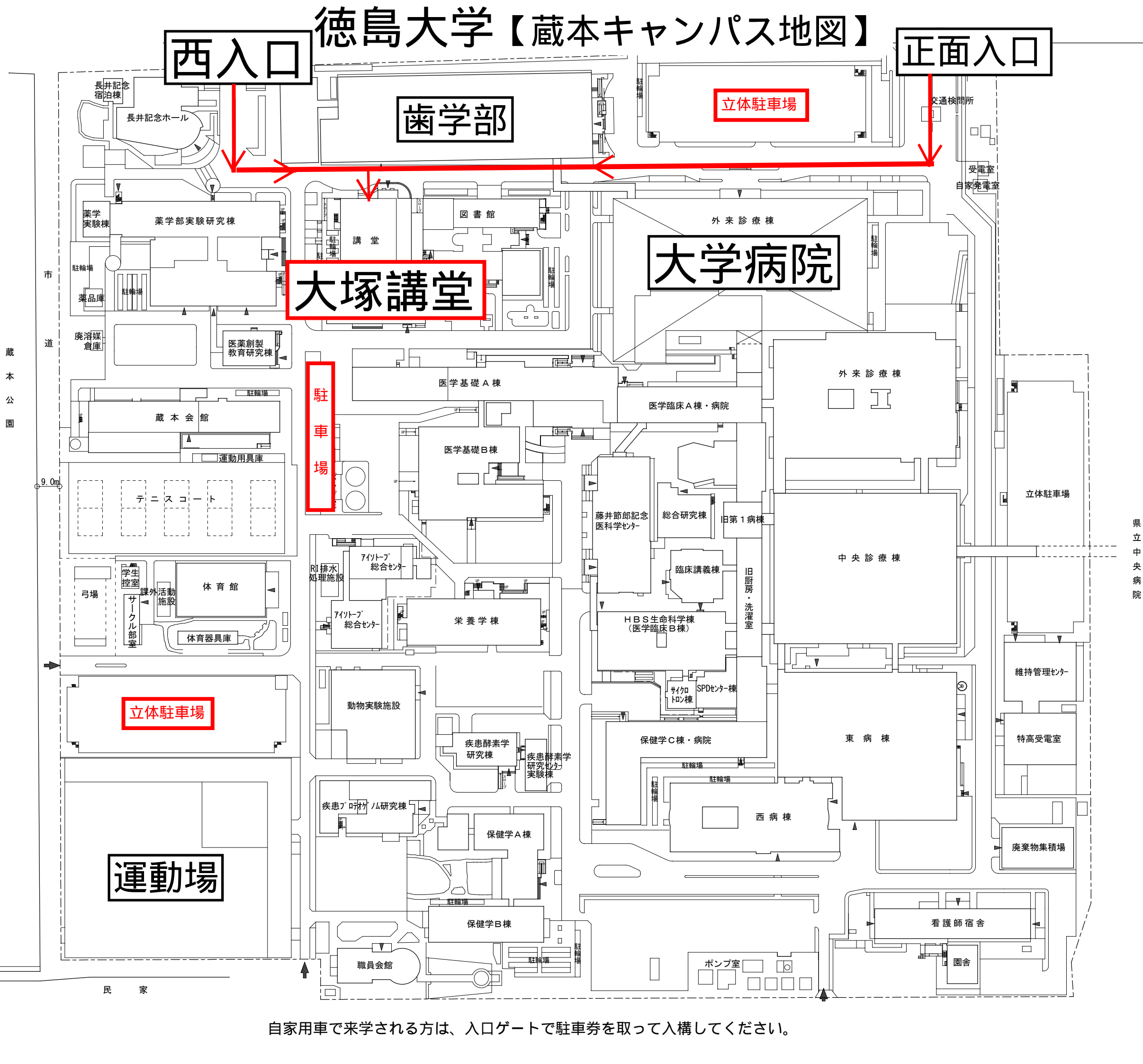
大学病院

駐車場

立体駐車場

運動場

自家用車で来学される方は、入口ゲートで駐車券を取って入構してください。



第 6 2 回 徳島大学解剖体慰霊祭

1. 日時 平成 27 年 10 月 9 日 (金) 15:00～

2. 場所 大 塚 講 堂

3. 次第

- 一 開式の辞
- 一 黙 禱
- 一 献体者の氏名奉読
- 一 追悼の辞
 - 祭主 (医学部長)
 - 歯学部長
 - 解剖関係教室代表 (福井 義浩 教授)
 - 白菊会代表 (檜原 道治 理事長)
 - 医学部学生代表 (医 3 年 渋谷 英太郎)
 - 歯学部学生代表 (歯 3 年 奥田 綾乃)
- 一 献 花
- 一 遺族代表者挨拶 苅部 恵美子 殿
- 一 祭主挨拶 医学部長
- 一 閉式の辞

4. 第 62 回徳島大学解剖体慰霊祭出席予定者数

来 賓	3 人	(3 人)
遺 族	8 0 人	(80 人)
白菊会役員	8 人	(7 人)
教 職 員	1 5 0 人	(150 人)
学 生	3 0 0 人	(300 人)
合 計	5 4 1 人	(540 人)

注・・・() 内の数字は前年度分を示す。

5. 第 62 回 (平成 27 年度) 徳島大学解剖体慰霊祭 総御霊数

	第 60 回 (平成 25 年度)	第 61 回 (平成 26 年度)	第 62 回 (平成 27 年度)	総御霊数
系統解剖	36 柱	51 柱	49 柱	1996 柱
病理解剖 (医)	41 柱	27 柱	42 柱	4215 柱
(歯)	0 柱	0 柱	0 柱	41 柱
合 計	77 柱	78 柱	90 柱	6252 柱

第 62 回の御霊数は、平成 26 年 9 月 1 日～平成 27 年 8 月末の期間の成願者数である。

<参考>

徳島大学白菊会について

1. 目的 会員の健康の維持並びに増進を図るとともに、医学・歯学の発展と人類の福祉に貢献するため、会員の遺体を徳島大学医学部に献体することを目的とする。

2. 設置 昭和42年9月1日

3. 理事長 檜原道治

4. 会員数 延べ人数 2,656人

5. 実数(生存会員数) 1,000人

6. これまでの成願数 1,142人

7. その他

1) 献体とは・・・医学・歯学の大学における人体解剖学の教育・研究に役立たせるため、ご自分の遺体を無条件・無報酬で提供することです。(生前の本人による入会手続きが必要)

2) 献体の意義・・・最大の意義は、自らの遺体を提供することによって、医学・歯学教育に参加し、学識、人格ともに優れた医師を養成するための礎となり、次の世代の人達のために役立とうとすることにあります。

3) 解剖学教育の実情・・・医学部では4人に1体、歯学部では6人に1体という割合で解剖学実習が行われています。文部科学省基準は(医学生2人に1体、歯学生4人に1体)

4) 解剖の種類・・・次のとおりです。

◆系統解剖・・・人体の構造を調べるための解剖。

病理解剖・・・死後、すぐ病変を調べるための解剖。

法理解剖・・・変死体の死因を調べるための解剖。

5) 白菊会への年間入会者数

平成6年度(48人)、平成7年度(88人)、平成8年度(85人)

平成9年度(88人)、平成10年度(48人)、平成11年度(66人)

平成12年度(73人)、平成13年度(75人)、平成14年度(109人)

平成15年度(120人)、平成16年度(105人)、平成17年度(116人)

平成18年度（33人），平成19年度（47人），平成20年度（66人），
平成21年度（58人），平成22年度（62人），平成23年度（56人），
平成24年度（32人），平成25年度（35人），平成26年度（45人）
平成27年度（99人）

- 6) バンクとの関係・・・系統解剖には，眼球や腎臓などの臓器が揃ったご遺体がより望ましいので，原則として，アイバンク等への登録されている方又はご予約の方は，先に登録された方を優先いただいております。

また，臓器提供（ドナーカード保持者）についても同様です。ただし，アイバンクについては，片眼登録のみであれば白菊会の入会が可能です。